

# 長崎倶楽部

No.54

2018.1.25

長崎県人クラブ事務局 〒160-0004 新宿区四谷1-10-2-412 tel:03(5366)4888 <http://nagasaki-kc.org/> 発行人/山内 賢明

## 目次

● 巻頭インタビュー 45 / 田中健一	1	● イベント予告	9
● 新年ご挨拶 / 山内賢明	5	● ひと / 栗原信敏	10
● 講演会 / 玉木賢明	6	● HOT SPORTS	13
● TOPICS	8	● 新人会員自己紹介・お悔やみ	19
● 新刊紹介	9	● ESSAY / 男澤浩一	20

題字：吉田 佳広



## 巻頭インタビュー

45

## 私と長崎

# 田中健一

瓊林会会長・  
元 岡三証券  
株式会社社長

112年の歴史を誇る長崎大学経済学部同窓会・  
「瓊林会」の充実に「グローバル視点」で全力

日本で3番目に古い歴史を有する長崎大学経済学部の同窓会「瓊林会」を率いる田中健一さん。就任して1年半余、証券界で培った国際感覚をフル活用して精力的に飛び回る。インタビューでは同窓会の充実や人生観などを歯切れよく明快に語っていただいた。

（聞き手・長崎県人クラブ常務理事 牧山 康敏 撮影・井口尚美さん）

### 瓊林会の名称の由来は雪を被った輝く林の意

— 瓊林会の瓊は大変難しい字ですが、この名称の由来からお願いします。

田中会長 瓊林とは雪を被った光り輝く林を意味します。林の数多くの木々（学生）は全て「玉」であり、「玉石混交」ではないということです。この故事から「徳の備わった人を喩えて「瓊林梅檀（せんだん）」というようになったと言われています。

また長崎は昔から「瓊の浦（たまのうら）」と呼ばれていたこともあり「瓊」は長崎に相応しいということとで本会の名称になったと聞いています。同窓会が昭和11年法人組織になった時、関係者による応募作の中から選ばれたものです。

— 大変由緒ある名前ですね。名称だけでなく長大経済学部は日本でも歴史が古いそうで。

田中会長 この学部の前身は長崎



高等商業学校で、東京高等商業

学校(現一橋大学)、神戸高等商業学校(現神戸大学経済学部)に次いで1905年(明治38年)に開学しており、日本でも3番

目の歴史があります。同窓会は開学4年後の1909年に出来ています。1936年に社団法人として組織化され、その後、新公益法人法の施行に伴って2013年に公益社団法人とな

っています。同窓会の公益社団法人化は全国的にも珍しいよう

◆◆◆  
**会員は1万5千人以上  
全国の21支部で活動**

—現在の会員数はどのくらいですか。その役割は。

**田中会長** 約1万5000人で、全国に21の支部があります。公益社団法人としての役割は2つあります。1つは公益事業、もう1つは同窓会事業です。法律で公益事業は51%以上が義務

付けられています。具体的な公益事業としては、大学の先生達

に対しての東南アジア研究の支援などがあります。長崎大学は以前から東南アジア研究には力を入れて

います。学生に対しては就職支援として、キャリア・デベロップメント講座へのOB・OGの派遣や東京での金融

市場体験学習プログラムの推進などを行っています。女子学生のための芙蓉寮という寮もあり

安く提供しています。英会話なども推奨されているようですが。

**田中会長** 英国人を雇い、一般市民に対して「英語ボランティア育成講座」を開催しています。長崎を訪れる外国人観光客が

年々増加する中、個人や小グループの観光客が目立って来ています。この講座は英語で長崎の観光ガイドができるボランティア

のガイドを育成しようとするもので、受講者の数も増えて来ています。

◆◆◆  
**同窓会は親睦交流に力  
1年間で15支部訪問**

—同窓会事業としては。

**田中会長** これは同窓生の親睦交流が主ですが、全体総会の他にもいろいろな趣味の会などがあ

り活発です。先ほど申しましたが支部は全国に21あります。趣味の会には、囲碁、俳句、ゴルフ会に加えマンドリンクラブも

活発な活動をしています。私も支部総会には出来る限り出席していますがこの1年間で11箇所

の支部総会に出席し、ゴルフ大会などにも参加しました。マンドリン演奏は全国レベルです。昨年4月の熊本地震の際はチャリティマンドリン演奏会を行い、収益金を熊本の被災地に寄付しました。

**田中会長** 私は証券会社(岡

三証券)に入社してすぐ、1978年ニューヨーク大学ビジネススクールに留学した関係で、同大学の日本人の同窓会長を10年間やっていました。その会長も後任に譲り、やっと一息

ついてきたところに瓊林会会長にとの声がかかりました。これは大変なことになったと思いま

したね。ただ公益法人としてまだ体制が整備されていないところもあつたので、まずそこから

手をつけよう。公益社団法人には、普通の会社と同じで理事

会もあり総会もあります。経理業務や職務規定なども整備を進めていますが、特殊な会計で

なかなか難しいところもあります。私も2日間研修会に出席しました。

◆◆◆  
**「人生100年時代」  
50〜60代から十分**

—会員を増やすことも大きな役割ではないですか。

**田中会長** 会員増強のために私もほうぼう出かけています。会合では50代以上の人が多い。多くの支部を回っても若手と言え

る人は比較的少ない。私も若い頃には同窓会活動にあまり積極的ではなかったですからね。「瓊林会友の会」というのがあって、これは60歳以上がメンバーで

す。「人生100年時代」と言われますが、3つの時代があると思います。学生時代、仕事時代、そしてシニア時代。そのメインは同窓会ですね。60代で同窓会に入ってもまだその先20〜30年はあるわけですからね。若手の参加を促すのと同時に、シニアの活発な参加を期待しているところ

です。瓊林会の結束は固いでしょうね。

**田中会長** 同じ釜の飯を食った仲間ですからね。初めて会ってもすぐ仲良くなり打ち解けるものです。同窓会の良いところで

すね。私もこの1年半ぐらいで全国の支部にもよく行っていますが、同窓会のスライド写真や長崎の写真などを見せると長崎の思い出も強まるようですね。

◆◆◆  
**学生はバイトで実体験を  
英語の勉強は聞いて話せ**

—現役の学生に何を一番求めますか。アドバイス。

**田中会長** 私の学生時代は「火山瓶が飛んだ時代」(学園紛争)で勉強は余りしませんでした。大学ではアルバイトとバスケットボールに夢中でしたね。アルバイトは30種類ぐらいやりました。親から支援はほとんど貰わ

ずに過ごしました。アルバイト

ほとんどの業種を経験しましたが、県庁や市役所にも行きました。旅行も好きで学生時代はヒッチハイクもやり、国内各地によく行きました。海外にも、これは卒業後の話ですが仕事やプライベートで39カ国を回りました。机上の勉強も大事ですが実体験も大事です。学生時代しか出来ないことです。それに英会話には早く取り組んだ方が良いでしょう。文法なんかどうでも良いから、まず聞いて、繰り返ししゃべること。子供でも文法など知らずとも真似て話せるようになるということ

日本でも3番目に出来たもので伝統があります。この伝統はどこにも負けないと思っています。最近では東京志向ばかりで残念な気がします。長崎の街は面白いし、いろんなことが学べる。この雰囲気は経済学部独特のものでありますね。瓊林会館も立派なものがあるし、国の指定文化財などもあり歴史と伝統を感じています。

◆ ◆ ◆  
**若い頃からグローバル感 長崎は「和華蘭」文化!**

——長崎への思いが相当強いようです。

**田中会長** 長崎の写真を見るにつけ思うのは「長崎は凄い所」ということです。長崎大学には昔から東南アジア研究所があつて留学生も多い。外国人観光客も多く、長崎の人は若い頃から「グローバル感覚」を養っています。「グローバル」といっても外国に行くだけではないのです。「和華蘭」文化と言つて長崎には3つの歴史があります。長崎が九州で一番ですね。私も仲間を連れて行きますが、九州では見るところが一番多い。長崎市の「観光大使」もやっています。特に長崎の夜景は素晴らしいですね。食事の良いですよ。



つですね。

**田中会長** 3年前に1位が長崎、2位が神戸、3位が札幌となりました。これは夜景観賞士という人がいて投票で決めるそうです。長崎の稲佐山にこの1年で3回登りましたが、展望台からは360度見渡せる。つるべ落としの11月が一番綺麗だと思いますね。改めて見直しているところですよ。

——ここで田中さんの生い立ちをお聞きしたい。島原市のご出身ですね。子供の頃はどんな少年？

**田中会長** 島原といえば水の美味いところですよ。大学に入つて長崎市に行つたら水に合わない、しばらくは味噌汁も飲めなかつた思い出があります。小学校から高校までは島原城の近

くでした。小学生の頃は遊んでばかりで腕白でした。私の兄弟はスポーツ好きで兄はサッカーで、もう一人の兄も陸上選手で2人とも全国大会にも出ています。私は中学校時代から高校、大学とずっとバスケットボールに夢中でした。高校時代には池上先生という非常に厳しい先生にヘッドが出るぐらい鍛えられましたね。試験の時には練習が休みになるので、それが一番嬉しかった。島原高校はその当時、県内で1、2位を争う強い学校でした。大学のバスケットもかなり強く、強豪の福岡大学と競りあつたものです。

◆ ◆ ◆  
**中高大ではバスケットに夢中 30種類のアルバイト経験**

——スポーツを通じて得たことは何ですか。

**田中会長** 「心技体」のバランスを保つこと。健康・技術・心で

——改めて長崎大学経済学部への思い、他校との違いを。

**田中会長** 長崎大学経済学部は

——情報収集には特にご熱心なようですが、やはり心が一番大事ですね。ただこの心が一番難しい。スポーツの良さは気が置けない友達ができることです。

——情報収集には特にご熱心なようですが。

**田中会長** 情報力は収集力、判断力、伝達力が揃うことで本物に近づいていきます。私はテレビ、新聞、雑誌などあらゆる情報に目を通して情報収集力を高めています。1週間に1回は必ず銀座(東京)などの街に出向いて人の流れなどを見て、いろんな情報の参考をしています。判断力も大事ですね。みんなが右に行つて左に行く判断は難しい。それをどう磨くかですね。

◆ ◆ ◆  
**心技体の大切さを学ぶ 特に心が一番大事です**

——大学を出て1973年に岡三証券に入社されます。「生き

海外志向が強く証券界に留学先で国際感覚を磨く

——大学を出て1973年に岡三証券に入社されます。「生き

海外志向が強く証券界に留学先で国際感覚を磨く

——大学を出て1973年に岡三証券に入社されます。「生き

海外志向が強く証券界に留学先で国際感覚を磨く

——大学を出て1973年に岡三証券に入社されます。「生き

海外志向が強く証券界に留学先で国際感覚を磨く

——大学を出て1973年に岡三証券に入社されます。「生き

海外志向が強く証券界に留学先で国際感覚を磨く





◆◆◆  
**お客・株主・社員のために  
 先を読む力で変化を先取り**

—その後、調査部や企画部、株式部や営業本部の各長などを経験。そして2006年に満を持しての社長就任です。その時の抱負は。

馬の目を抜く」とまで言われた証券界に入った動機は。  
**田中会長** 選択肢はいろいろありましたが、何となく受験したらグローバルなところがあつて直感で入りました。もともと海外志向が強かったので当初は商船大学を希望していましたが目を悪くして諦めました。1973年に入社して4年目にニューヨーク大学ビジネススクールに留学したのですが、この2年間は勉強の方で徹底的に鍛えられ、MBAを取得することができました。ニューヨークで

は多くの刺激を受け勉強になりました。ここでグローバル感覚が醸成されたかなと思つています。先物取引の勉強も出来たし、この経験は帰国後も大いに役立ちました。ブラックマンデー、バブル崩壊、リーマンショックなどいろいろありましたが驚きませんでした。リーマンショックの影響も一切受けなくて済みました。株の暴落はむしろチャンスだと考えて対応できました。環境のせいにはしないで環境の変化に対応していくことが大事だと思ひましたね。

◆◆◆

とが大事でしょう。

—田中会長の人生訓をお伺いします。

**田中会長** 心技体のバランスを大切にすること。そして時間を大事にすること。私は毎朝5時に起きて夜は10時に寝ます。朝の時間が勝負だと思つています。趣味といえばゴルフ、書道それに歴史探訪の旅が好きですね。特に邪馬台国探しには夢中です。2年前からは水彩画も学校に通つて習つています。毎日1万歩を目標にして昼休みも歩きますが、待ち時間でも屈伸運動など身体を動かしています。とにかく「寸陰」を惜しまぬ気持ちです。

—経営者として必要なことはなんでしょう。  
**田中会長** 世界ではドラスチックな事が起こつています。金融界ではキャッシュレスの時代に突入し、自動車業界では電気自動車と自動運転の時代が来ようとしています。米国ではすごいことが起きています。信じられないような世界が来ます。それをいち早く見抜いて対応するこ

—最後に若者へのアドバイス。  
**田中会長** グローバル・マインドを持つ人になつて欲しい。海外に行かなくてもその考えは大事です。そうすればいろんなことが見えてくる。それにどのよ

うな厳しい局面に当たつてもポジティブに考えること即ちポジティブ・シンキングが肝要だと思います。  
 —長時間、貴重な参考になるお話をありがとうございました。

◆◆◆  
**〈インタビューを終えて〉**

**グローバル視点で心技体を磨く**

証券会社の経営を通じて生来のグローバル志向に一層磨きがかかる。心技体のバランスの大切さを説き、母校の伝統ある同窓会「瓊林会」の充実発展に情熱を注ぐ。話の内容は明快であり、情熱がこもる。証券界を生き抜いてきた経営者とは思えぬ紳士的な振る舞いは学者肌にも見える。中村法道知事とは同期生だが、「心技体」をベースにした田中会長のもと、瓊林会の新たな歴史に期待が高まる。

**田中健一 瓊林会会長のプロフィール**

生年月日 昭和25年6月22日  
 出身地 島原市  
 学歴 長崎県立島原高等学校卒業  
           長崎大学経済学部卒業  
           ニューヨーク大学経営大学院修了(MBA)  
 職歴 岡三証券株式会社代表取締役社長  
           岡三証券株式会社  
           グローバルリサーチセンター 理事長 現在に至る